



自然由来汚染土壌の判定および溶出特性試験

長年蓄積された豊富な経験・知識を用いて自然由来汚染土壌の評価をお手伝いいたします。

自然由来汚染土壌の判定

自然由来の砒素や鉛などの重金属等を含む岩石・土壌(以下、発生土)は日本全国に広く分布していますが、建設工事で発生する発生土は盛土や埋土の材料として有効利用が図られることが望ましく、適切な対応が求められています。

改正土対法では、自然由来の基準不適合土壌を活用する制度が定められ、23年に国交省からマニュアルが発行され、現場にあった適切な対策工事が推奨されています。

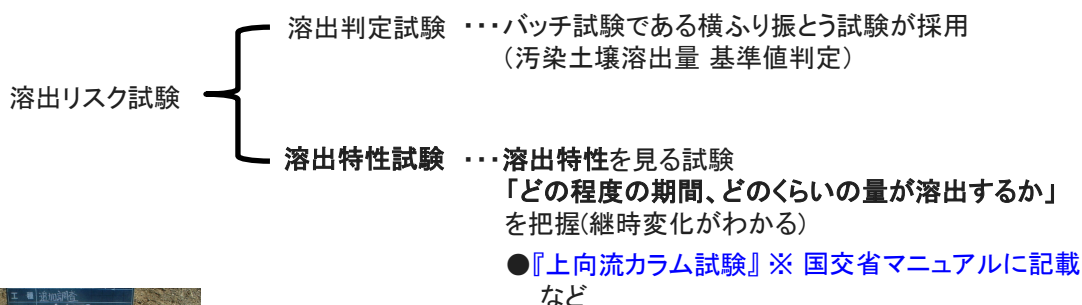
当社は、これらの動きに対応し、お客様のご要望に応じて評価をお手伝いいたします。

	条件	確認事項
判定基準(例) 自然由来土壌の	土地の履歴	地形図、住宅地図、登記簿 等
	化合物形態	同位体比
	土壌溶出量基準の10倍以下	土壌溶出量分析
	全含有量が目安値内	全含有量分析

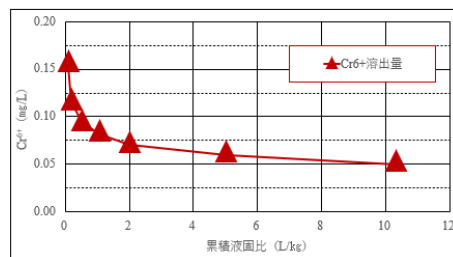
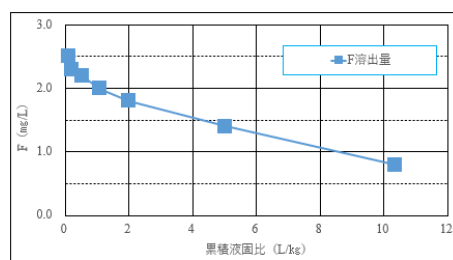
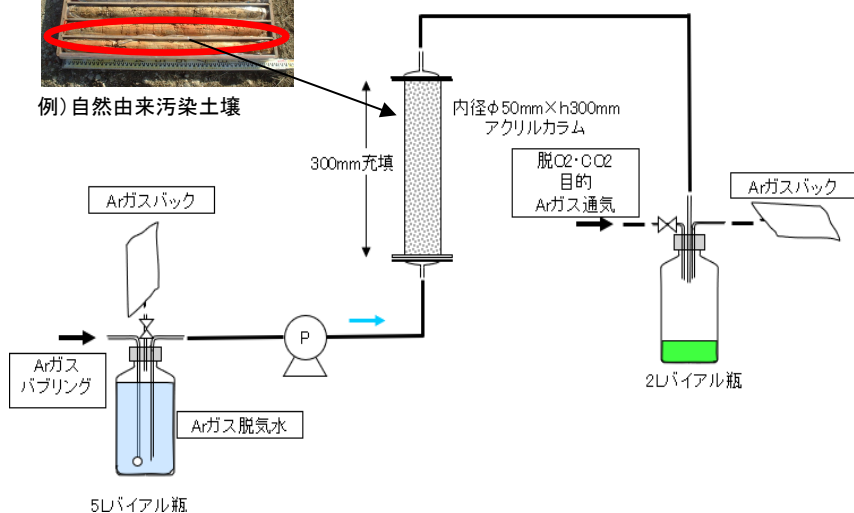
溶出特性試験

土壌汚染物質の溶出リスク試験は、溶出判定試験、溶出特性試験の2種に分けられます。

そのうちの溶出特性試験として、国交省マニュアルに記載されている『上向流カラム試験』を実施いたします。



例) 自然由来汚染土壌



試験結果(例)

